

I 学校の課題

【経営上の課題】

○解決課題

- ・危機管理

○達成課題

- ・チーム力 ・信頼される学校づくり ・「新しい福岡の教育計画」の展開

【教育上の課題】

○解決課題

- ・規律 ・人権感覚

○達成課題

- ・ステップアップ(さらなる充実) ・学びの基礎

II 教育目標【伸びゆく筑中生徒のイメージ】

未来に輝き、たくましく生きる筑中生徒の育成

- 「未来に輝く」とは、自己実現をめざすことである。

(1)希望をつくる。

「人生を楽しもう!」

(2)あきらめないで努力を積み重ねる。

「やればできるんだ!」「転んだら何度でも立ち上がろう!」「負けてたまるか!」

(3)自分らしく、自分のペースで歩き続ける。

「なりたい自分になるぞ!」「精一杯がんばっている自分が好きだ!」

- 「たくましく生きる力」=学力+筑中スピリッツ

- ・学力とは、学び続ける力(上達の秘訣)である。

- ・筑中スピリッツとは、自分にきびしく、人にやさしくする精神である。

(1)負けない自分に鍛える。

「底力がある!」「失敗してもいいじゃないか!」「転んだら立ち上がれ!」

(2)人を大切にする。

「みんな、がんばっているんだ!」「眼には見えない大切なことがある。」

(3)マナーを身につける。「当たり前だけど大切なことがある!」

(4)競い合うライバルや生き方モデルを見つける。

「あの人のようになりたい!」「あの人がいたから、今の自分がある!」

(5)チームワークをつくる。“One for all, All for one”

- ・みんなのルールを守る。「世の中にはルールがある。」

- ・自分の役割を実行する。「自分の学級なんだ!」

- ・互いを信じてスクラムを組む。「力をあわせればきっとできる! もっとできる!」

- 「筑中生徒」とは、すてきな自分、学校や地域を愛する生徒である。

- ・地域を知り、地域を愛し、地域の将来を構想する。

「自分は大切にされているんだ!」「私の筑中!」

III 経営目標【活力ある学校のイメージ】

生徒、保護者、地域住民に期待される、活力のある学校

※活力のある学校が「期待される学校」である。

「活力のある学校」には、積極的な学校文化(より善いものをめざす雰囲気)がある。

- ・希望をつくり，全力投球する生徒がいる学校【未来を語る生徒】
- ・一人ひとりが生きる学校【笑顔で元気のある生徒】
- ・意欲的に実践する教職員のいる学校【前向きなチームスタッフ】
- ・地域ぐるみで育てる環境に囲まれた学校【心強いサポーター】

生徒，保護者や地域住民に信頼される学校

※「信頼される学校」とは，生徒，保護者や地域住民の期待に応える学校である。

- ・子どもの学力や生活などで教育効果の見える学校【効果のある学校】

【信頼される教師イメージ】

教育指導者としての自覚と意欲をもち，信頼される教師

※「信頼される教師」とは

- ・一人ひとりを大切にする教師【人権感覚を磨く教師】
- ・意欲的に教育実践する教師【指導力のある教師】
- ・人間性に富む教師【憧れモデルの教師】

IV 経営の重点『コラボレーション(協働)』

1. チーム力を高める組織運営「学校経営計画」「危機管理マニュアル」

(1) チームワークの活性化

- ① 集団目標の共有化 → 部会の開催
- ② 協働体制
- ③ 役割の明確化【責任性】「強み(経験知，指導力)を活かす」+ 役割の遂行
→ 権限と責任，職務内容の明確化
- ④ 職員ルールの遵守【規律性】
- ⑤ 活発なコミュニケーション【協調性】「内に開かれた学校」
→ 積極的な発案，情報の共有

(2) 危機管理体制の整備

- ① 学校事故の回避
 - ・ 注意義務
 - ・ 危機意識と危機管理体制 → 報告・連絡・相談の徹底と組織的な対応
- ② 説明責任を果たす確かな実践!

2. 積極的な学校文化の形成「学校研修計画」「公務員倫理と服務規律」

(1) 高め合うチームスタッフ

- ① 効果のある学校研修
→ 先行実践に学ぶ。校外研修会への積極的な参加を!(長期休業中)
- ② 研修の日常化
→ 職員室で互いの悩みと実践交流を! 生徒の話題を!

(2) 前向きなチームスタッフ

- ① 公務員倫理，職務意識の向上
- ② 鋭い人権感覚

V 重点目標

①元気 ②全力投球 ③チームワーク

+ **ステップアップ**

①希望を語る! あいさつ, 返事, 歌声 【元気いっぱいの生徒】

②精一杯出し切る! あきらめない! 立ち上がる!【全力投球する生徒】

③みんなのルールと約束! 役割! 認め合い! 支え合い! 競い合い!

【チームワークを大切にする生徒】

VI 指導の重点『スリム化と充実』

1. 質の高い教育実践「生徒指導計画」「人権教育推進計画」「キャリア教育計画」の充実

(1) 達成目標を明確にした組織的な実践

①達成レベルのステップアップ →自主的で元気なあいさつ

②重点化・焦点化した取組 →体育大会の長縄を重点化する。

(2) 適切に位置づけた体験活動

①個人体験 ~自己ベスト更新, 努力・鍛錬, 競争, 奉仕, 継続, 本物との出会い
集団体験 ~交流, スクラム

②達成・向上・感動体験 ~上達のコツを掴む。「やればできる!」

失敗体験 ~試行錯誤「次は失敗しないぞ!負けるものか!」

(3) 効果的な指導過程

①指導と評価の一体化

・めあての提示, 意欲的な活動, 振り返り, まとめ・評価, 発展

②重視する学習過程

・受け取る(読み取る力, 聞き取る力, 見抜く力), 粘り強く考える, 判断する, 表現する。
(言葉, 文章, 図)

・習得過程, 活用過程, 探究過程

・学び合う過程

(4) 一人ひとりを大切にし, 元気の出る人間関係づくり

①共感的・受容的態度(傾聴, 承認, 励まし)+毅然たる姿勢

・小さな努力を認める。

・人権感覚, 善悪の判断, マナーの徹底

②当たり前だけど大切なことの徹底

・みんなのルール(生徒心得)+みんなの約束「伸びゆく筑中生」の実現

→早期発見+迅速・適切・誠意ある初期対応+粘り強い指導

③個に応じた特別な支援体制

④コミュニケーションスキルの習得

・人にやさしい言葉を! 勇気づける言葉を! 動かす言葉を!

⑤隠れたカリキュラム

・大人のモラル向上

(5) 出会い【立志】

①人間としての生き方との出会い

②勤労体験 →手伝いのすすめ, ボランティア清掃

(6) 学びの基礎づくり

①学習意識, 自主的学習態度の育成 →「学力向上推進プラン」の充実と組織的な実践

②見えない学力(言語活動, 根気強さ, 先行体験)の育成

・知的憧れ・読み取る, 書き留める, スピーチ, 聞き取る活動の設定

→原稿なしスピーチ, 辞書引き, 読書のすすめ

③脳を育てる。

・適度なメディアとの接触

(7) 子どもの可能性を伸ばす教育活動

- ①適度な部活動
- ②自主的・自律的な活動

2.心を育む学校環境の整備

- (1)環境にやさしい行動
 - ・片付ける。・揃える。・大切に使う。
- (2)人権感覚を育てる環境
 - ・作品やことばのあふれる環境

3. 地域ぐるみで育てる教育環境づくり

- (1)学校情報の積極的な提供
 - ・指導方針の周知，家庭の教育力支援(啓発)
- (2)恵まれた教育資源を活かした教育活動
 - ①近隣の幼・保，小，中，高校と大学の活用
 - ②大橋駅周辺にある多様な事業所
 - ③活発な地域活動への参加
- (3)小中連携教育の推進 「小中連携教育推進計画」
 - ①緩やかな段差，必要な段差へ
 - ②一貫性，系統性
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・教育課程の相互理解
 - ③協働意識の向上＝学校間の壁の撤廃